



みち 古道が紡ぐ物語



おかげ参りの賑わい残す横大路を辿る

～伊勢街道編②～

今回は、日本最古の官道とされる^{たけのうちかいどう}竹内街道の歴史と、竹内街道沿いの葛城市のまち並みを紹介しました。今回は、竹内街道から続く、^{よこおおじ}横大路沿道のまち並みを紹介します。

横大路と下街道との交差点に発展し、おかげ参りの伝統を今に引き継ぐまち、大和高田市。そして横大路と中街道（下ツ道）との交差点に興り、近世に^{はたご}旅籠のまちとして繁栄した八木札の辻（檀原市）。

この二つのまちに共通する「伊勢詣で」「交差点」というキーワードから、まちを点描します。

横大路を辿る～大和高田市・八木札の辻（檀原市）

■大和高田市—今に息づくおかげ参りの熱気

^{たけのうち}竹内街道（大阪府堺市～奈良県葛城市）の東端・長尾（葛城市）から、東に続く^{よこおおじ}横大路。現在の国道166号線の一部と重なっているこの道を行けば、大和高田市に至る。

同市は、旧高田川（現在は埋め立てられ、通称「中央道路」になっている）を挟んで西側は^{せんりゅうじ}専立寺の寺内町、東側は農業集落として発展を遂げたまち。横大路と下街道（大和郡山市～五條市）との交差点にあたるため、古くから陸上交通の要衝として商工業の中心を担ってきた。

近世には、民衆が集団で伊勢神宮に参詣する、いわゆる「おかげ参り」で賑わった同市には、往時を偲ぶ遺物が数多く残されている。横大路沿いには、「^{だい}太^{じんぐう}神宮」と呼ばれる立

派な^{とうろう}燈籠がいくつも残されているほか、1830（文政13）年、^{いわそのにいますた くむしたま}竜王宮（石園座多久虫玉神社）に奉納されたと伝わる「おかげ参り施行図絵馬」には、当時のおかげ参りの様子が克明に描かれている（1990（平成2）年、本殿の火災で焼失）。



横大路と下街道との交差点



「太神宮さん」と呼ばれ親しまれる伊勢燈籠

同市の片塩商店街では、かつての熱狂的エネルギーにあやかったイベント「おかげ祭り」を1997（平成9）年に初開催したところ、好評を得た。

以来同イベントは、県内外から大勢の集客がある毎年の恒例行事となっており、おかげ参りの熱気は今に息づいている。



「おかげ参り施行図絵馬」(1990年焼失)

■八木札の辻（檀原市）—歴史・文化の「交差点」

横大路を更に東進すると、横大路と中街道（古代の下ツ道）との交差点、八木札の辻（檀原市）に至る。



そして、まさにこの横大路と中街

道との交差点に建つのが「八木札の辻交流館」。江戸時代に^{はたご}旅籠として建てられ、空き家となっていた民家「東の平田家」を檀原市が改修し昨年7月にオープンした交流施設である。

写真正面が中街道（下ツ道）。右手前は、高取藩の銀札引替所でもあった河合家住宅（国の登録文化財）

「ここ八木札の辻は、横大路と下ツ道の交点にあたる旅籠のまちとして栄えたが、まさにその交差点に江戸時代の旅籠がそのまま残されているというのは一種の奇跡。その八木の歴史的価値や魅力を、後世に遺し語り継いでいく必要がある」と語るのは、八木まちなみ保存会会長の葛井潔氏と、



横大路と中街道との交差点に位置する「八木札の辻交流館」
NPO 法人八木まちづくりネットワーク理事長の
平田元氏。

2005年に空き家となり、傷みの進んでいた「東の平田家」。このまま建物が朽ちることでそれにまつわる歴史や文化までもが失われることを危惧した八木の住民は、保存に向けた活動を行う。その思いが届き、2010年に橿原市は建物を市の文化財に指定。同市は所有者から建物の寄贈を受けて土地を買い上げ、2011年に改修工事がスタート。もともと築200年を超える建物のため、土台にはねじれや歪みが生じ、屋根は随所で雨漏りが発生するなど、困難が多かったが、1年がかりで完成した。

間取りから部材の組み方に至るまで、建築当時の姿を再現することにこだわり、調度品も家に伝わるものを置いている同館。見学は無料で、湯茶

のもてなしがあるほか、建物内をガイドしてもらうこともできる。

伊勢神宮参詣の人々を無償で饗応するため、かつて八木の住民たちが設けた接待場。訪れる人々を地域住民がもてなす同館は、現代の「接待場」として、地域の一層の活性化に貢献すると期待される。（太田宜志）



札の辻の接待場跡

○八木まちなみ保存会

地区の歴史や文化について学び、地区の発展に資する活動を行う団体。

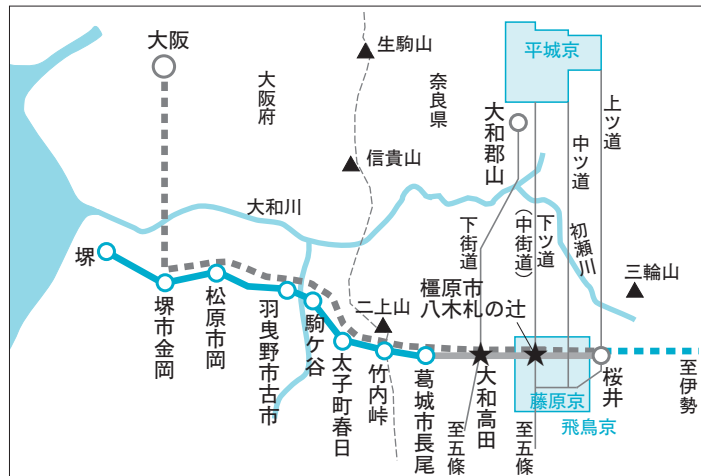
○NPO 法人八木まちづくりネットワーク

奈良県内の各地域と連携した町家の芸術祭「HANARART」を毎年開催する一方、「町家に住んでみたい」と思う方々に空き町家の情報を伝え、利活用を図る活動もしているまちづくり団体。そうした取組みの甲斐あって、ここ2年足らずで3~4件の入居が決まったという。また最近、同NPOの協力を得て、奈良県立医科大学の学生サークルが町家復興事業に取り組んでいる（今月（2013年6月）号の「ならやま雀」参照）。

■「横大路」の概要

横大路（葛城市長尾～桜井市初瀬）は、竹内街道（堺市大小路～葛城市長尾）と同じく、難波と飛鳥の都とを結ぶ「大道（官道）」を起源とする街道で、その名の通り奈良盆地を東西に横断する。

近世には伊勢街道としても発展し、南北の街道である下街道、中街道（古代の下ツ道）、上街道との交差点上には、それぞれ高田（大和高田市）、八木（橿原市）、桜井（桜井市）といったまちが栄えた。



竹内街道・横大路と大和の古道

— 竹内街道 — 大道のコース — 横大路 — 初瀬街道・伊勢本街道